

指導内容系統表例（社会科、地歴・公民科）

単元「信長・秀吉の時代」

		小学校	中学校	高等学校
学習指導要領に示された内容		・キリスト教の伝来、織田・豊臣の天下統一について調べ、戦国の世が統一されたことが分かること。	・戦国の動乱とその時期のヨーロッパ人の来航について理解させるとともに、その文化の伝来が我が国の社会におよぼした影響について考えさせる。 ・織田・豊臣による統一事業とその当時の対外関係のあらましを通して政治や社会の大きな変化を理解させるとともに、武将や豪商などの生活文化の展開に気付かせる。	・ヨーロッパ世界との接触とその影響、鎖国などその後の対外関係、支配体制と身分制度や儒学の役割、文化の特色に着目して、織豊政権、幕藩体制の特質について理解させる。
	指 押 さ え て お き た い	<p>【織田信長の政治】</p> <p>尾張の小さな大名→今川義元を桶狭間の戦いで破る。 ・鉄砲を使った新しい戦法で武田氏を長篠の戦いで滅ぼし領土を拡大する。 ・安土城を築き、天下統一をめざす。 ・室町幕府を滅ぼす。 ・延暦寺や一向宗などの宗教勢力に激しく攻撃を加える。 ・家来の明智光秀に攻められ、命を落とす。</p> <p>【豊臣秀吉の政治】</p> <p>・明智光秀を倒した後、天下を統一する。 ・大阪城を政治の中心にする。 ・全国的に検地を行い、田畑の面積や収穫高を調べる。 ・農民が一揆を起こさないように刀等の武器を取り上げる刀狩令を出す。 ・武士と農民、町人との区別をはっきりする。 ・中国（明）を征服しようと2度にわたって朝鮮に大軍を送る。</p>	<p>【織田信長の政治】</p> <p>・尾張の戦国大名→今川義元を桶狭間の戦いで破った後、勢力を拡大する。 ・1573年足利義昭を追放し、室町幕府を滅ぼす。 ・鉄砲を活用し、武田氏を長篠の戦いでやぶる。 ・安土城を築き、天下統一をめざす。 ・延暦寺や一向一揆などの仏教勢力に厳しい態度で臨み、屈服させる。 ・楽市楽座を行う。 ・1582年、京都の本能寺で、家来の明智光秀に攻撃され、自害する。</p> <p>【豊臣秀吉の政治】</p> <p>・明智光秀を倒し、1590年北条氏を滅ぼし、天下を統一する。 ・大阪城を本拠地として、政治を行う。 ・太閤検地を行う。 ・一揆を防ぐため、刀狩を行う。 ・兵農分離の政策を行う。 ・朝鮮に出兵→李舜臣の活躍等により出兵は失敗に終わり、豊臣氏の没落の原因となる。 ・朝鮮から連れてこられた陶工により、陶磁器が伝わる。</p>	<p>【織田信長の政治】</p> <p>・尾張の戦国大名→1560年、今川義元を桶狭間の戦いで破る。 ・1567年、岐阜城に移り、天下布武を宣言する。 ・比叡山延暦寺を焼打ち、伊勢長島や越前の一向一揆を平定し、石山本願寺を屈服させる。 ・1573年、足利義昭を追放し、室町幕府を滅ぼす。 ・1575年の三河の長篠合戦では、鉄砲を大量に用いた戦法で、武田勝頼の軍に大勝し、翌年近江に安土城を築く。 ・安土の城下町に楽市令を出して、商工業者に自由な営業活動を認める。 ・1582年、京都の本能寺で、明智光秀にそむかれて敗死した。（本能寺の変）</p> <p>【豊臣秀吉の政治】</p> <p>・1582年、山城の山崎の合戦で明智光秀を討ち、石山の本願寺の跡に大坂城を築く。 ・1590年、小田原の北条氏政を滅ぼし天下を統一。 ・太閤検地を行う。 ・一揆を防止するため、1588年刀狩令を出す。 ・兵農分離を完成させる。 ・朝鮮に出兵（1592年文禄の役、1598年慶長の役）→豊臣政権を衰退させる原因となる。</p>
内 容 的 な 知 識	基礎的	・キリスト教は、スペインの宣教師フランシスコ・ザビエルが伝えた。鉄砲は、1543年にポルトガル人が種子島に漂着し、伝えた。	<p>・1492年、コロンブスがカリブ海の島に到着（新大陸発見の糸口となる。）</p> <p>・1498年、バスコ＝ダ＝ガマがアフリカ大陸の南端をまわってインドに到着</p> <p>・1522年、マゼラン一行が世界一周に成功</p> <p>・16世紀初め、宗教改革が起り、カトリック派とプロテスタント派に分かれ、激しく争う。</p> <p>・カトリック派は、イエズス会を結成し、アジアでの布教活動に力を入れる。</p> <p>・ポルトガルは、インドのゴア、スペインはフィリピンのマニラを中心に貿易を行う。</p> <p>・鉄砲は、1543年にポルトガル人が種子島に漂着し、伝えた。</p> <p>・1549年、キリスト教は、フランシスコ＝ザビエルが鹿児島に到着し、伝える。</p>	<p>・1492年、コロンブスがサンサルバドルに到着した。</p> <p>・1498年、ヴァスコ＝ダ＝ガマがインド西岸のカリカットに到達した。</p> <p>・マゼラン一行は、1519年、西回り大航海に出発し、船団の一隻が1522年、帰国した。（世界周航）</p> <p>・1517年、ルターが九十五カ条の論題を発表した後、新旧両教徒の争いは戦争にまで発展した。</p> <p>・カトリック教会のイエズス会は海外での布教活動につとめた。</p> <p>・1543年にポルトガル人を乗せた中国人の倭寇の船が、種子島に漂着した。これが日本にきた最初のヨーロッパ人である。島主の種子島時堯は、彼らの持っていた鉄砲を買い求めた。</p> <p>・1549年、イエズス会（耶穌会）の宣教師フランシスコ＝ザビエルが鹿児島に到着し、大内義隆・大友義鎮らの大名の保護を受けて布教を開始した。</p>
	世界的	・ポルトガルやスペインなどの外国との貿易が盛んになり、様々な品物や文化が伝わった。（カステラ、ズボン、カルタ、ボタンなど）	<p>・桃山文化（信長・秀吉のころの文化、大名や豪商が中心の豪華で壮大な文化）</p> <p>・ふすま絵、屏風絵→狩野永徳「唐獅子図屏風」</p> <p>・茶の湯→千利休</p> <p>・かぶきおどり→出雲の阿国</p> <p>・浄瑠璃や人形浄瑠璃</p> <p>・南蛮文化（ヨーロッパ人がもたらした文化）</p> <p>・パン、カステラ、たばこなど</p>	<p>・桃山文化（信長・秀吉の時代の文化 豪華・壮大な文化）</p> <p>・城郭建築、書院造、障壁画（狩野永徳、狩野山楽）、透かし彫、欄間彫刻、活字印刷、茶道（千利休）、かぶき踊り（出雲阿国）、人形浄瑠璃</p> <p>・南蛮文化（南蛮貿易が盛んになり宣教師の布教が活発になるにつれて生まれた文化）</p> <p>・南蛮屏風、活字印刷など</p>
育 て た い 力	課題を見付ける力	・信長・秀吉の働きを通して、どのようにして戦国の世が統一されていったのかについて課題意識をもつ。	・信長・秀吉の時代の政治や文化の展開を通して、時代の特色は何かについて課題意識をもつ。	・ヨーロッパ世界との接触やその影響を通して、織豊政権が果たした役割や文化の特色は何かについて課題意識をもつ。
	資料を活用し表現する力	・信長・秀吉の働きや代表的な文化遺産についての各種の基礎的資料を活用して調べ、戦国の世が統一されていく様子を分かりやすく表現することができる。	・信長・秀吉の時代の政治や社会の大きな変化と文化についての様々な資料を収集し、適切に選択・活用して調べ、時代の特色と大きな変化について分かりやすく表現することができる。	・世界史的背景と関連させながら、織豊政権や文化の特色についての様々な資料を収集し、適切に選択・活用して調べ、織豊政権の統一政策の意義について分かりやすく表現することができる。
活用例	自ら考え判断する力	・信長・秀吉の働きを通して、戦国の世が統一されていく様子を多面的に考察することができる。	・信長・秀吉による統一事業と対外関係のあらまし、文化の展開を通して、歴史の流れと時代の特色を多面的・多角的に考察することができる。	・世界史的背景と関連させながら、信長・秀吉の統一過程や文化の展開を通して、織豊政権の統一政策の意義について多面的・多角的に考察することができる。
	活用例	・キリスト教の伝来、信長・秀吉の天下統一について学習したことを基に、それらと関連する身近な文化財について調べさせる。	<p>・ヨーロッパ人の世界進出で学んだことを基に鉄砲やキリスト教が日本に伝わった背景やそれらが及ぼした影響について考えさせる。</p> <p>・小学校での信長・秀吉の学習について想起させながら、彼らの行った政策によって近世社会の枠組みが作られていったことに気付かせる。</p>	・ヨーロッパ世界とのかかわりについて学習したことを基に、我が国が世界とのかかわりの中で受けた影響を考えながら、戦国の世の統一から幕藩体制の確立につながった動きについてまとめさせる。

小・中・高いずれにも出てくる重要事項